



九号

大歳省

通多... 百依... 也

三十四



114  
A2200

補

八年七月...



得破...

大正十七年四月



銀行課分任事務條例

大正十一年四月  
大隈侯爵印寄

六  
歲  
首

銀行課分任事務條例

夫レ貨幣流通物産繁殖ノ道ヲ開通スルハ銀行ヲ  
盛ニスルニ若クナレ然リ而シテ營業其規ニ悞ヒ  
信用ノ源ヲ擴メ其途ヲ誤ラステ盛大ニ赴ク時  
ハ衆庶ノ信憑ヲ來シ其便ヲ為シ其國益ヲ益ム  
現然ナリト雖モ若シ其營業ノ方向ヲ失シ其行為  
ヲ錯ルトキハ其流通ヲ閉塞シ顛沛ヲ招クハ無論  
ニレテ衆民ノ困難ヲ釀シ其害タルモ亦莫大ナリ  
實ニ理財上ノ一大要件トス是該察人民ト銀行ト  
ノ間ニ立テ其營業ヲ監護シ尽力周旋スル所以ナ  
リ然レ共徒ラニ席上ノ空理ヲ論シ目前ノ保護ヲ  
施ス而已ニシテ其實際ニ涉獵シテ其方法ヲ尽サ  
サル時ハ徒法徒勞ニシテ到底保護ノ信立テ難シ

カレハ自来四方ニ奔走シテ結社ノ来由ト營業ノ  
方向ト實際ヲ詳知シ此兩者ヲ斟酌シテ保護ノ手  
段ヲ設クルカ為銀行課ヲ置キ左ノ条目ニ從テ飽  
マテ實際ヲ探知シ往々銀行旺盛ノ一大基礎ヲ建  
設スヘキナリ因テ課中ヲ分ツテ四掛トナス曰ク  
常務曰ク記表曰ク翻譯曰ク交換而シテ毎掛事務  
ノ概目ヲ分任シ其順序ヲ略示シ以テ之ヲ擔當セ  
シノ各人ヲシテ其責ヲ免ルヲ得サラシム因テ其  
条件ヲ分任スル概子左ノ如シ

常務掛事務条件

- 一 正院本省へ伺届及ヒ諸省使府縣へ往復等ノ文  
案ヲ草スル事 銀行事務ニ関スル者ニ限ルヘシ
- 一 各府縣及ヒ人民ノ願請及ヒ伺届等へ指令文案

ヲ草スル事 同前

- 一 各銀行ノ願請及ヒ伺届等へ指令ノ文案ヲ草ス  
ル事 同前
- 一 各銀行ノ定期及ヒ臨時検査ノ事
- 一 各銀行實際營業方向進否ヲ探知スル事
- 一 國立銀行條例改正ノ事
- 一 銀行課處務要例ヲ編纂スル事
- 一 洋銀券一切ノ事務ヲ處分スル事
- 一 銀行類似ノ會社ノ事務ヲ處分スル事
- 一 迴議及ヒ都テ一切ノ書類ヲ受授スル事
- 一 課内ノ翻譯書類ヲ管理スル事
- 一 諸物品受授ノ事
- 一 諸御達及ヒ日記ヲ詳録スル事

一課中總務ノ手報ヲ製スル事

記表掛事務条件

一各銀行實際報告表及考課状ヲ點檢記表スル事

一洋銀券發行報告表ノ事

一簿記精法及銀行實際報告表改正ノ事

附洋銀券簿冊改正ノ事

一各銀行定期及臨時検査ノ事

一物産賣買ノ景況ヲ探知スル事

一外國為換相庭ヲ記表スル事

一金銀貨ト紙幣ノ差ヲ記表スル事

一租稅察輸出入表ヲ撮記スル事

一外國諸銀行ノ年報ヲ撮記スル事

一銀行紙幣ノ下付高及損札ヲ記表スル事

翻譯執事務条件

一銀行事務ニ関スル洋籍及暹度氏ノ著書ヲ翻譯スル事

一各課往復ノ洋文ヲ翻譯スル事

一課中一切ノ洋籍ヲ管理スル事

交換掛事務条件

一 山院本省へ伺届及諸省使府縣へ往復等ノ文案ヲ草スル事 交換事務ニ関スル者ニ限ルヘシ

一各府縣及人民ノ願請及伺届へ指令文案ヲ草スル事

一官省札兌換證券交換ノ事

一旧藩札交換ノ事

一廢札及損札ヲ處分スル事

各掛分任ノ条件此ノ如シト雖モ後來銀行ノ事業盛大ニ至リテハ或ハ處務ノ条件ヲ增加分任スル丁アルヘシ

第一條 正院本省へ往復等ノ文案ヲ草スル事

国立銀行創立ヲ許可セシ旨及銀行紙幣發行ノ御布告銀行元金ノ増減セシ等ハ正院へ御ヨリノ申達案ヲ草シ御輔ニ廻議シテ其次ヲ取り之ヲ處分スヘシ  
国立銀行創立ノ願請創立證書等ヲ進呈シ該銀行ノ紙幣ノ員額ヲ確定シ及銀行類似ノ結社ヲ願請スル等ハ總テ議案ヲ作シ御輔ニ決ヲ取テ處分スヘシ  
銀行ノ事務ニ付臨時各省使府縣ノ往復ハ其事ノ輕重ニヨリ寮頭或ハ御輔ノ決ヲ取りテ處分スヘシ

第二條 各府縣及人民ノ願請及文案ヲ草スル事

国立銀行及銀行類似ノ會社創立ノ願請及右事件ニ付同等ニヨリ府縣へ御ヨリノ指令或ハ人民へ寮頭ヨリノ指令等ハ其案ヲ草シテ寮頭或ハ御輔ノ決ヲ取りテ處分スヘシ

第三條 各銀行ノ願請及文案ヲ草スル事

營業上ニ付各銀行ヨリ願請及向各等ハ寮頭ノ指令文案ヲ草シ事ノ輕重ニヨリ御或ハ寮頭ノ決ヲ取りテ處分スヘシ

第四條 各銀行ノ定期及臨時検査ノ事

銀行ヲ検査スルハ營業上ノ實際ト簿記ノ法ヲ熟知スル者ニ非レハ其職ヲ盡スヲ得サルヲ以テ常務記表兩掛ヨリ必テ一名宛ヲ派出シテ検査セシメ歸京ノ後實際検査スル所ノ景況ヲ詳細條陳スヘシ

第五條 各銀行實際營業方向進否ヲ探知スル事

各銀行營業進否ノ景況ハ毎月并半季實際報告類ヲ以テ實驗明瞭スルハ勿論ト雖モ或ハ常例ノ検査ノミヲ以テ監視推知スヘカラサル者無シモ非ズ因テ豫メ克ク茲ニ注意シ必シモ隱漏詐偽ノ弊害十カヲシメシムルヲ要スヘシ

第六條 国立銀行條例改正ノ事

初 国立銀行條例ヲ編纂スルヤ盡セルカ如シト雖モ今日ニ至リテハ間々改正セサルヘカラサル者アリ因テ其既往將來ノ景況ヲ熟視シ歐米ノ條例ヲ斟酌シ協議ヲ尽シテ改正スヘシ

第七條 銀行課業務要例ヲ編纂スル事

金銀貸借為替規則商業取引等凡テ銀行ノ事務ニ関

係スル條件ハ法律ヨリ布告布達ニ至ルマテ部門ヲ分テ之ヲ操録編纂シ以テ本課一部ノ業務要例トナシ平素之ヲ辨明シ其事ヲ處スルノ際ニ臨テ齟齬ヲ盾スルナキヲ要スヘシ

第八條 洋銀券ノ事務ヲ處分スル事

洋銀券發行實際ノ景況ヲ熟視シ其發行規則ヲ改正増補スルヲヨリ以テ發行高準備金出納寮抵当預ニ至ルマテ確實ヲ要シ一切ノ該事務ヲ處分スヘシ

第九條 銀行類似ノ會社ヲ處分スル事

人民ヨリ銀行類似ノ會社創立ヲ願請スル時ハ其社則ノ良否ヲ査閲シ御輔ヲ決取リ處分スヘシ

但シ他日通常銀行條例ヲ頒布スルカ如キハ其條

例ニ照査シニ及合スル者亦多カラン

第十條 巡議一切ノ各類ヲ受授スル事

凡テ巡議層ハ受授ノ際必ス簿冊ハ証印ヲ捺セシメ  
他日ノ搜索ニ便ニスヘシ自余一切ノ各類モ亦之ニ  
徴ヒ紛擾ナラサルヲ要スヘシ

第十一條 翻譯層類ヲ管理スル事

翻譯層ニ於テ洋籍ヲ譯シヨリ記錄課ニ送致シテ二  
通ノ淨書セシメ常務掛ニ送致スレハ一通ヲ寮頭ニ  
呈シ一通ハ課中ニ藏置シ其出納受授ヲシテ錯雜ナ  
ラシムヘカラス

第十二條 物品受授ノ事

課中費用スル所ノ物品ハ其残余ヲ明瞭ニシ毎月入  
用ノ見込ヲ記シ以テ調度課ヨリ受取リ其物品ノ終

乱ナキヲ要ス

第十三條 諸御達及日記ヲ録スル事

各省寮頭ノ御達等総テ事務ニ関係アル者ハ悉ク之  
ヲ記載レ置クヘシ

課中一切ノ事務細大下ナク之ヲ日記ニ登スヘシ

第十四條 事務ノ年報ヲ製スル事

課中毎分スル所ノ事務ハ年末毎ニ各掛ヨリ書出シ  
常務掛ニ於テ之ヲ集録シ以テ寮頭ニ報告スヘシ  
以上常務掛擔任スル所ニ係ル

第十五條 實際報告考課状ノ事

各國立銀行毎月實際報告及半季實際報告考課状等  
ハ其發行紙幣ノ準備金額及預金抵當金額ヨリ貸付  
損益ニ至ルマデ各例ニ照シテ照檢シ本紙一葉ハ御



輔ニ主シ副々一葉ニ系頭ノ閱覽ニ供スヘシ而シテ  
別ニ異表ヲ製シ共表中ノ各項ヲ區別シテ毎月之ヲ  
撮記シ以テ一覽ニ便ニスヘシ

第十六條 洋銀券報告ノ事

洋銀券發行高ハ月報表ニ記載スル所ノ金額ヲ日報  
ニ照査シ其發行ノ増減ヲ見且ツ半季ノ平均高ヲ記  
シ御年ニ稟議シテ其決ヲ取り銀行ヲシテ其三分一  
ノ抵當ヨリ然レシムヘシ

第十七條 簿記精法及實際報告等改正ノ事

簿記精法中間々或ハ謬誤闕漏充分ナラサル所アル  
カ如キハ遲度氏ニ稟議シテ増補改正シ各銀行ヲシ  
テ一ニ之ヲ準據セシメ其簿冊ノ書式毫モ異ナルト  
ナキヲ要スヘシ

半季實際報告及毎月實際報告等モ亦遲度氏ニ稟議  
シテ其書式ヲ確定シ併セテ其差出方規則ナル者ヲ  
改正シテ其書式ヲ疏解スヘシ

洋銀券ノ簿冊ハ洋銀券發行規則ニ照準シ亦増補剛  
正シ以テ確定スヘシ其書式ノ註解モ亦附屬スルヲ  
要スヘシ

第十八條 銀行検査ノ事

各銀行ノ検査役ハ必ラス帛務掛ノ一員ト同心稟議  
シテ遺漏ナキヲ要シ検査スル所ノ実況ヲ詳細条陳  
スヘシ

第十九條 物産賣買ノ景況ヲ探知スル事

物産賣買ノ景況ハ其產出ノ源ト賣買ノ季節トヲ探  
知シ其景況ノ變及上其價ノ高低ヲ明カニシ各年ノ

比較ニ高シキモノハ記入スヘシ

第廿一條 銀相庭ノ事

洋銀ノ相庭ハ更ニ罰表ヲ製シテ第ニ国立銀行ノ日  
報ヨリ謄記シテ其高低ヲ一覽スルニ便ニスヘシ  
第廿一條 外國為換相庭ノ事

外國為換相庭ハ暹度氏ニ囑シテ之ヲ報知セシメ更  
ニ罰表ヲ製シテ各國ヲ區別シテ之ヲ登記シテ其高  
低ヲ一覽スルニ備フヘシ

第廿二條 金銀貨紙幣ノ差等ノ事

金銀貨紙幣ノ差ハ各銀行ニ囑シテ一ヶ月毎ニ報知  
セシメ罰表ヲ製シテ之ヲ記入シテ其差ノ高低ヲ  
視ルニ便ニス

第廿三條 金銀貨輸出入ノ事

金銀貨ノ輸出入等ハ更ニ罰表ヲ製シ租税察ヨリ送  
致スル亦ノ輸出入表ヨリ毎月之ヲ記入シテ其治  
革ヲ觀ルニ便ニス

第廿四條 外國銀行年報ノ事

外國諸銀行ニ損益ノ景況ヲ視察センカ為メ暹度氏  
ニ囑シテ年報ノ購求シ之ヲ罰表ニ記入スヘシ  
第廿五條 銀行紙幣下付高及損益ノ事

各銀行紙幣ノ下付高及損益ノ事  
所ノ銀行紙幣發行帳ニ記入スヘシ  
以上記表掛擔任スル所ニ係ル

第廿六條 諸語譯ノ事

銀行事務ニ關ル洋籍ハ總テ頭助ノ命ヲ奉ヒテ之  
ヲ翻譯シテ送テ二通ヲ淨書セシメ而シテ

大 裁 省

常務課

暹度氏書スルノ著書モ亦前ニ同シ

第七七條 洋籍ヲ管理スル事

洋籍ハ本省或ハ本寮ノ部分ヲ區別シ其出納授受必  
ラズ簿冊ニ記シ紛乱ナキヲ要スヘシ

以上翻譯批擔任スル所ニ係ル

交換ノ事務ノ順序ハ先ツ是迄ノ通ニ付暫ク之ヲ畧  
ス

前款之通相定候條自今正確ニ遵奉可致候事

明治八年七月

紙幣頭得能良々



銀行課事務條例附錄

第一條

銀行課通常ノ事務ヲ處スルノ外更ニ非常ノ事故或

ハ銀行ノ際ニ起ルアリテ願請ル等總テ主重ニシ

テ輕忽處ス可カラサル者、如キハ常務課表ノ兩摺

ニ於テ協議ヲシテ所見ヲ記シテ以テ寮頭ニ呈スヘ

シ寮頭若シ異見アリテ之ヲ諭示スル時ハ之ニ因リ

或ハ銀行ノ役員ヲ喚出シテ其情實ヲ糾シ或ハ猶協

議ヲ尽シテ寮頭ニ申告スヘシ而シテ其說全ク異ナ

ル時ハ左ノ會議ヲ開クヘシ

一此會議ハ銀行事業ニ関シテ非常ノ事件アル時

ニ限ル

一此會議ハ常務課表掛ノ人員ニ限ルヘシ

大 裁 省

一此會  
意タルハ  
一此會議ニ列スル者ハ位階老少ヲ問ハス忌憚ナ  
ク其意見ヲ詳述スヘシ  
一此會議ノ議長ハ無論寮頭タルヘシ  
右會議ニ於テ決スル所ヲ取リ以テ非常ノ事件ヲ處  
置ス時ハ恐ラクハ其疎漏事ヲ誤ルノ患ナキニ庶  
幾ラニ

第二條

銀行ノ事務ヲ總理整頓スルハ宜シク都鄙ヲ論セス  
内國一般商買ノ實況ヲ熟知シ外國貿易ノ得失ノ景  
況ヲ辨了セサル可カラサルナリ因テ定期臨時検査  
ノ外更ニ各地方臨時検査官ヲ派出シテ其景況ヲ探

訪セシムヘシ該派出ノ官員ハ必ス常務記表ニ掛ノ  
内ヨリ各一名ヲ撰擧スヘシ何トナレハ二掛ノ員ハ  
平素負擔ノ事務ニ於テ同シク銀行ニ係ルト雖モ各  
々異ナル所アルヲ以テテリ該員既ニ其命ヲ奉シ派  
出スルニ當テハ其地方商買上萬般ノ景況ハ勿論處  
務ノ順序及掛合往復等ニ至ルコトヲ細大遺スナク筆  
記シテ寮ノ上寮頭ニ報告スヘシ

前款之通附録相定候條自今正確ニ遵奉可致候事

明治八年七月

紙幣頭得能良々

大藏省

